

令和 2 年 12 月 14 日

医療法人公仁会姫路中央病院
理事長 東 靖人

新型コロナウイルス感染症患者の発生に関しまして（第三報）

平素より当病院の運営に格別のご高配に賜りまして誠にありがとうございます。

院内で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生しました件で、引き続きの対応をご報告申し上げます。

検査状況に関しましては、すでに全入院患者様、保健所から指定された外来患者様や濃厚接触者様、全職員の PCR 検査を終了しております。

また、クラスター発生後、一つの病棟を陽性者専用病棟として他の病棟とは完全に分離した状態で運営を続けております。

職員からも複数の陽性者が出ておりますので、業務中をはじめ休憩中などの感染防止を徹底し、陽性の職員は自宅待機若しくは入院等の措置をし、徐々に快方に向かっております。

しかしながら、引き続き限定的な範囲で散発的に陽性者が確認されている状態ですので、感染防止対策を徹底し感染拡大の防止を図っているところです。

病院での新規入院の受入れや救急車の受入れについては、感染状況をよく見極めた上で判断いたします。

なお、病院とは別施設である附属クリニックに関しましては、消毒を実施し、人的な交流を制限した上で 12 月 14 日より診療を再開しました。

患者様の動線を制限し、感染リスクのある内視鏡検査やリハビリを見合わせた上での診療再開としていますが、お薬の処方やレントゲン、血液検査などの体制は整えております。

まだまだ気の抜けない状態が続いており、皆様にはご心配とご迷惑をお掛けし大変申し訳ございません。

引き続き感染防止対策を徹底し、一日でも早く終息させるように全力を尽くしますので、皆様のご理解をよろしくお願い申し上げます。

以上